

■ 集会プログラム ■

13時42分
14時42分

- ・開会挨拶、実行委員長挨拶
- ・講演「七生の性教育攻撃とは何だったのか！

失ったものと勝ち得たもの
—そしてこれからへ
つなげたい思い」

講師：日暮かをるさん

(「七生養護学校こころとからだの学習裁判」原告)



リレートーク

- 18歳成人。「三者協議会」を通して社会とつながる高校生
- 特別支援教育。つづく教室の過密
- 教職員不足と教育へのしわ寄せ
- 「日の丸・君が代」裁判5次訴訟・原告の思い
- つづく教科書への政治介入と今年の小学校採択
- 8年目を迎えた夜間定時制存続運動
- 画期的な「東京都こども基本条例」を学ぶ
—朝鮮学校に通う子どもたちへの東京都補助金復活のために—
- 保育料無償化と就学前教育への政府の介入
- 英語スピーキングテストの問題点と運動の成果
- 保護者からみた学校

14時44分
16時16分

※リレートークの内容は
若干変更する場合があります。

その他、集会アピール採択など

集会の約束

憲法改悪に反対する集会／非暴力の集会／互いに誹謗・中傷・攻撃を行わない集会／意見の違いを認め合い、一致点を大切にする集会／参加者は組織、個人にかかわらず、互いに対等・平等である集会

13:00開場 13:30開会
(終了予定は16:50です)

全国教育文化会館 7F



交通 JR市ヶ谷駅下車徒歩7分
東京メトロ有楽町線麩町駅下車徒歩2分 **アクセスマップ**

※感染症対策にご協力ください

- マスクの着用・手洗いの徹底をお願いします。
- 体調のすぐれない方・発熱をしている方は参加をご遠慮ください。
- 会場での飲食はご遠慮ください。

■ 参加申し込み・お問い合わせ ■

■ 下の QR コードまたは URL より申し込みフォームにアクセス、または電話、または下記の申し込み用紙にご記入し FAX でお申込みください。

■ 会場参加は定員120名ですが、感染状況に応じて定員が変更になる場合があります。当日、お申込みのない参加者については、既定の人数に達した段階で、ご参加をお断りする場合があります。あらかじめご了承ください、できるだけ事前のお申込みをお願いいたします。<申し込み締め切り：2023年2月3日(金)>

フリガナ お名前	参加形態 (チェックをいれてください) <input type="checkbox"/> 現地参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加
メールアドレス ※オンライン参加の方は必須	電話番号 *開催に関して変更があった場合にご連絡する場合があります。

申し込みフォーム

→ <https://forms.gle/eBuGph1tzHmMHgWQ7>



主催 2.5東京教育集会 2023実行委員会
TEL03-3230-4091 FAX03-3230-4090

憲法を守り生かし、
平和と民主主義、
子どもたちの権利を保障する
教育を、取り戻そう！



2・5
東京教育集会
2023

憲法を守り生かし、 平和と民主主義、 子どもの権利を 保障する教育を、取り戻そう！

～2・5 東京教育集会 2023 参加のよびかけ～

2022年11月1日

○ロシアによるウクライナ侵略と子どもたち

私たちは今年2月5日に憲法を守り生かす教育を求めて集会を行いました。しかし、私たちの願いを踏みにじる出来事がその後すぐに起こってしまいました。

2月24日にロシアは隣国ウクライナに侵略をしました。連日ニュースで「戦況」が報道されていますが、子どもたちにはこの戦争はどう見えているのでしょうか。あちこちの教室からも失われた命を悲しみ、戦争が早く終わることを願う子どもたちの声が聞こえています。子どもたちに接している私たちには、子どもたちによりそい、その声を聴くことが求められています。

○学校現場では

教育現場に目を移すと、東京都教育委員会は今年の中学3年生から都立高校入試に英語スピーキングテストを活用することを決めています。これには多くの都民が見直しを求める声をあげ、都議会議員の中にも賛同者が広がっています。

9月27日には安倍元首相の「国葬」がこれも多くの国民の声を無視して強行されましたが、「国葬」に反対する多くの声によって学校現場への半旗の掲揚や黙祷の強制などは見送られました。

さて、新型コロナウイルス感染症による突然の2020年3月の一斉休校から2年半がたちます。中学・高校では入学時からコロナ禍の子どもたちが最終学年を迎え、文化祭などこれまで中止・縮小を余儀なくされてきた学校行事が通常に近い形で行うよう努力がされていますが、今後のコロナ禍や気候変動などへの対応では課題が残されています。

オンライン授業をきっかけに加速されている学校のICT化は「一人一台端末」の小中学校での配備が完了、高校でも急速にすすんでいます。ICT化によってみえてきた教育活動の新たな可能性に注目する一方で、公教育の市場化・民営化、個人への監視・統制の強化、教育格差固定化という危険性を忘れてはなりません。

○子どもを応援する教職員は、保護者・家庭は

一方で教育活動を担う教員をとりまく状況は深刻です。多くの自治体で教員不足が常態化しかつ教員志望者の減少が続いています。教職員不足と過重労働の改善はまったなしの課題となっています。

「こども家庭庁」が設置されましたが、ことさら家庭の役割が重視され、虐待、貧困などで苦しむ子ども・保護者をいっそう追い詰めるおそれ指摘されています。子どもの個人報集積を推進することも問題です。子どもを権利主体と認め、社会全体でその育ちを支えていく方向に向かうことが求められています。

○みんなで集まり、学び交流しましょう

国でも東京都でも子どもと教育をめぐる課題が数多くあります。これらを一一つ解していくためにはまず知ることが大切です。私たちは毎年この時期に教育に関するさまざまな問題を多くのみなさんと学び合い、子どもたちのすこやかな成長とゆきとどいた教育の実現をもとめて教育集会を開催してきました。子どもたちに平和な未来を、願う私たちの取り組みの輪をひろげるために2・5教育集会2023にご賛同・ご参加くださることをよびかけます。

2・5 東京教育集会 2023 実行委員会

<2・5 東京教育集会2023 呼びかけ人>

青木英二（東京の教育を考える校長・教頭〈副校長〉経験者の会事務局代表）／浅沼秀行（日本国民救援会東京都本部会長）／荒井文昭（東京都立大学労働組合中央執行委員長）／池辺晋一郎（作曲家）／市川順子（東京原水協事務局次長）／市橋 博（障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会会長）／今井志郎（東京私立学校教職員組合連合中央執行委員長）／今井文夫（東京革新懇事務局長）／岩田行雄（日本国憲法制定史研究者）／梅原利夫（和光大学名誉教授）／小澤満吉（全日本年金者組合東京都本部委員長）／風間隆行（都庁職教育庁支部書記長）／金井克仁（東京憲法会議幹事長）／金崎 満（都立養護学校元校長）／川上千恵（教育を考える多摩市民の会代表）／川辺一雅（出版労連中央執行委員長）／木下雅英（東京都教職員組合委員長）／木原秀子（東京母親大会連絡会）／児玉洋介（東京総合教育センター所長）／小林君江（全国福祉保育労働組合東京都地方本部委員長）／坂田光正（全印総連東京地連執行委員長）／佐久間千絵（新日本婦人の会東京都本部会長）／佐藤洋史（三多摩子育て・教育問題連絡会代表）／澤 豊治（学校体育研究同志会全国常任委員会委員長）／品川典子（東京都障害児学校教職員組合委員長）／鈴木敏夫（子どもと教科書全国ネット 21 事務局長）／高橋 博（都庁職都立学校支部支部長）／棚橋昌代（旧「今こそ生かそう教育基本法」文京ネットワーク）／田村真理（出版労連東京地協連議長・同中南部地協議長）／中山 伸（革新都政をつくる会事務局長）／野澤裕昭（自由法曹団東京支部長）／林 幸二（消費税をなくす東京の会事務局長）／彦坂史紀（出版労連西北部地協議長）／藤井則子（婦人民主クラブ東京都支部協議会代表）／星野直之（「日の丸・君が代」不当処分撤回を求める被処分者の会）／増山 均（日本子どもを守る会会長）／三浦久美子（都立高校のいまを考える全都連絡会事務局）／三輪定宣（千葉大学名誉教授）／森峰太郎（大田子どもの教育連絡会事務局長）／矢吹義則（東京自治労連中央執行委員長）／山本篤民（東京地区私立大学教職員組合連合中央執行委員長）／吉田 章（東京社会保障推進協議会）／余田たけ子（東京都退職教職員連絡協議会会長）／渡部昌彦（東京民研事務局長）

集会賛同金のご協力をお願いします！

この集会は、趣旨にご賛同いただける皆さんの賛同金で行われます。ぜひご協力をお願いします。振込用紙の通信欄に、賛同金の口数、お名前をご記入いただき、お振り込みください

賛同金：個人 1口500円（できるだけ2口以上お願いします）

団体 1口2,000円

郵便振替口座：00110-2-333678

加入者名：東京教育集会実行委員会